

# 大湾区情報 No. 48

グレーターベイエリア情報 発行：2022年11月22日



## 【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【グローバルヘルス・アジア・サミットが香港で開幕 業界のチャンスに注目】](#)

[【香港・マカオ居住者を対象とした南沙個人所得税優遇措置の実施】](#)

[【前海と香港が合同で「2023年深圳・香港人材共同募集・誘致計画」を発表】](#)

【グローバルヘルス・アジア・サミットが香港で開幕 業界のチャンスに注目】



香港特別行政区政府、香港貿易發展局の共同開催による第2回グローバルヘルス・アジア・サミット(ASIA SUMMIT ON GLOBAL HEALTH)が11月10日香港で開幕し、世界各地の専門家や業界関係者がオンラインとオフラインでヘルスケア産業のチャンスや今後の発展といったテーマについてディスカッションを行いました。

---

同サミットの挨拶において、香港特別行政区行政長官ジョン・リー（李家超）氏は、香港政府の旗艦イノベーションプロジェクトである「InnoHK クラスタ―」には、香港と海外のトップ研究機関が運営する 28 の研究室が集まっており、そのうち 16 の研究所は生命・健康分野に特化していると述べました。2024 年以降、落馬洲ループ（Lok Ma Chau Loop）の香港―深圳イノベーションアンドテクノロジーパークを活用し、生命・健康分野などの戦略的産業に焦点を当て、有名企業や人材を香港に誘致する予定です。

国家衛生健康委員会副主任の曹雪涛副主任はビデオメッセージで、香港は中国本土という後ろ盾により、独自の優位性を持っており、国家衛生健康委員会が、香港の医療・看護分野の団体や学術機関の医学部と中国本土の同業者と積極的に交流し、医療科学技術の革新と応用、臨床実践などの分野で協力体制を強化し、香港の国家衛生健康構想への受け込みを支え、大湾区の衛生健康の総合発展を推進することを歓迎しました。

世界保健機関（WHO）のジュジャンナ・ヤカブ副事務局長はビデオメッセージで、グローバルな衛生問題に取り組む上で、科学、研究、イノベーションの力が重要であると述べました。そして、より強く、より強靱な衛生システムを構築するために、各界が一丸となる必要性を強調しました。

この 2 日間のサミットは、香港貿易発展局（HKTDC）がコーディネートし、「第 13 回香港国際医療・ヘルスケア展」と同時に開催され、「第 1 回国際ショナル・ヘルスケア・ウィーク」のハイライトのひとつとなったものです。この展示会には約 300 社が出展し、多くの企業が展示会を通じてビジネスチャンスを発掘し、大湾区マーケットへ参入することを望みました。

香港のある出展社は、トイレのカバーを自動的に交換し、排泄物をビニール袋に密閉することで、従来の便座よりも効果的に介護者の負担を軽減する斬新な「移動式ドライトイレ」を出展しました。同社担当者は、展示会でより多くのバ

---

イヤーと出会い、提携の機会を見つけられることを楽しみにしており、また、大湾区の他の都市にもビジネスを拡張していきたい、と述べました。

15 日間にわたる国際・ヘルスケア・ウィークは 11 月 1 日に開始し、アジアのヘルスケア産業におけるイノベーションと投資を促進し、この分野における新たな機会を捉えることを目的とした一連の会議とネットワーキングイベントが開催されました。

### 【香港・マカオ居住者を対象とした南沙個人所得税優遇措置の実施】



最近、広州市財政局と国家税務総局広州市税務局は共同で「広州市南沙個人所得税優遇政策実施弁法」（以下、「弁法」）を公布しました。「弁法」では、中国本土の税制の原則に従い、広州、香港、マカオのルールの融合を促進し、南沙の個人所得税の減免条件、範囲、徴収管理の実施内容を明確にし、南沙で働く香港・マカオの住民が明確な方法で優遇措置を受けられるようにすることを目的としています。

---

「弁法」では、広州南沙で働く香港ならびにマカオの居住者はそれぞれ香港ならびにマカオでの納税額を上回る金額の範囲で個人所得税を免除されるとし、減免税額の計算は一課税年度を基準として行うことが規定されています。この優遇政策は、「広州南沙における世界に向けた広東省・香港・マカオ包括的協力の深化に関する総合方案」による計画の、広州市南沙区全域で実施され、実施対象期間は**2022年1月1日から2026年12月31日まで**で、**2026年**の個人所得分に対しては、翌年**2027年**における個人所得税年次申告中において税金還付の手続きを行うことができます。

なお「弁法」では、香港ならびにマカオ居住者の身分を有し、広州南沙で登記された実質的な運営企業またはその他機関に雇用されている、広州南沙で独立した個人労働サービスの提供や生産・営業活動を行っている、さらに法律に従って広州南沙で個人所得税を納め、法律と規則を遵守し、優遇政策を享受する前の**3年間**以内に税違反の記録がない場合、といった、身分、労働、信義誠実の**3つ**の方面に関する条件を同時に満たした場合、優遇税制を受けられることが明らかにされました。

南沙区は「弁法」に基づき、「**2022年**広州市南沙区香港・マカオ居住者個人所得税優遇政策申告ガイド」（以下「申告ガイド」）を発行し、申告の具体的な対応方法を明らかにしました。今回の「弁法」及び「申告ガイド」の発行は、広州南沙の個人所得税政策が香港とマカオと歩調を合わせることで、住みやすく働きやすい環境を育み、香港・マカオ居民が南沙で起業・就職することを容易にし、南沙が大湾区に拠点を置き、香港・マカオと連携し世界に向かう一大戦略プラットフォームとなることに寄与するものです。

---

## 【前海と香港が合同で「2023年深圳・香港人材共同募集・誘致計画」を発表】



11月6日午後、9つの国際機関が「前海国際人材パートナー」として、第9回深圳・香港（前海）人材協力年次会議と深圳・香港合同イベント「招才引智」（以下「人材募集・誘致計画」）に参加しました。

今回のイベントは「香港と深圳の人材が手を取り合い、大湾区で夢を築く」というテーマで開催されました。同日、前海管理局と香港政府広東経済貿易事務所（Hong Kong Economic and Trade Office in Guangdong, GDETO）は共同で「2023年深圳・香港人材共同募集・誘致計画」を開始しました。

イベント当日において、コーン・フェリー（Korn Ferry）、マーサー・ヒューマン・リソース・コンサルティング（Mercer）、WTW（Willis Towers Watson）、アーンスト&ヤング（Ernst & Young）、ガートナー（Gartner）DDI（Development Dimensions International）、香港科技青年連合会（Hong Kong Science and Technology Youth Federation）、中国欧州連合商会（European Union Chamber of Commerce in China）、GIグループといった国際機関や企業9社が「前海国際人



---

材パートナー」への加盟を行いました。

その後、世界最大の学術出版社エルゼビア、世界トップクラスのコンサルティング会社ボストンコンサルティング、アクセンチュア、カタナコンサルティング、世界ビッグ5のヘッドハンターであるラッセル・レイノルズ・アソシエイツ、世界ビッグ4会計事務所のデロイトが加盟し、現時点で計15社と「前海国際人材パートナー」協約を結び、「ダブル募集・ダブル誘致\*」活動を110件実施しました。

\*人材及び才能、ビジネス及び資金の両方を誘致すること。

2025年までに、前海は「2x100」国際人材パートナーの目標を達成する予定です。つまり、毎年100以上の国際人材パートナーを招き、共同で100件以上の「ダブル募集・ダブル誘致」活動を行い、主要機関や人材が加速的に前海に集まるよう、トップリソースを活用することを計画しています。

### 2023年深圳・香港人材共同募集・誘致計画を発表

会議上で、前海管理局と香港広東経済貿易事務所が共同で「2023年深圳・香港人材共同募集・誘致計画」を立ち上げ、それぞれ両地の「人材募集・誘致計画」政策について発表しました。

香港特別行政区政府、事業者団体、人的資源機構は共同で、大湾区のビジネス環境、発展の見通し、支援サービスをアピールするため、大湾区でのチャンスに関するセミナーを開催し、合計150以上の外資系企業や香港資本企業、300以上の経営者が出席し、多くの国際ヘッドハンティング会社のパートナーは大湾区の開発に強い関心を示しました。

同時に、前海はロシアの大学関連組織、日本の早稲田大学中国留学生会と手を組み、大湾区での発展チャンスを紹介するため、海外留学生人材の誘致に関するセミナーを多数開催しています。

---

香港大学前海インテリジェント交通研究院や香港科技青年連合会など、香港の人材キャリアの前海への進出を促進し、香港の若い科学技術人材を共同で育成します。香港特別行政区政府、大学、企業と共同で「ビジネスリーダーフォーラム」、「科学技術企業の海外進出」、「大湾区科学技術訓練キャンプ」などの一連のイベントを開催し、香港と深圳の 200 社以上のトップマネジメントに交流、展示、協力のプラットフォームを提供します。

前海香港・マカオ青年募集プログラムは継続して拡大されており、合計 4,514 件の求人を掲載、香港・マカオの若者 260 人が同プログラムを通じてテンセント、順豊エクスプレス、微衆銀行などの前海企業と雇用契約を結び、前年比 208%増を達成しました。北京大学、清華大学、テンセント、アーンスト・アンド・ヤングなどの組織と協力し、このプログラムには香港、マカオから 1,300 人以上の学生が参加し、キャリア強化のトレーニングキャンプを実施しました。また、国連開発計画（United Nations Development Programme、UNDP）と共同で「2022 年社会イノベーション加速キャンプ」を開催し、20 の質の高い社会イノベーションプロジェクトの登録に成功、香港・マカオの若手起業家を対象に「価値評価－価値発見－価値インキュベーション」プラットフォームを構築しました。

また、前海は今後「グローバル現代サービス業人材集結スキーム」を立ち上げ、「グローバル現代サービス業人材リスト」「リスト人材『直通列車計画』の立ち上げ」などの措置を通じて、専門基幹人材、上級管理人材、リード研究人材の集結を加速させ、前海が大湾区の国際人材が就職・起業する最初の場所、好ましい場所となるよう支援するとしています。

## イベントの四大ハイライト

その 1: 「前海国際人材パートナー」の新グループが会議で発表され、コーン・フェリー、マーサー・ヒューマン・リソース・コンサルティング、WTW、アーンスト・アンド・ヤング、ガートナー、DDI、香港科技青年連合会、中国欧

---

州連合商会、GIグループなどの国際組織が現地で「前海国際人材パートナー」に参加。今後、共同で学術フォーラムや人材サミット、人材誘致プロジェクトなどを前海で立ち上げていく予定。

その2：深圳・香港人材共同募集・誘致会議では、前海管理局と香港広東経済貿易事務所が共同で「2023年深圳・香港人材共同募集・誘致計画」を発表。

両者は今後、多くの人材誘致活動を展開し、さまざまな人材専門家や重点企業の幹部を招き、政策推進、円卓会議、人材サロンなどを通じて、国際的な人材を深圳や香港に誘致していく予定です。

その3：香港、前海共同政策の広東省香港経済代表部総入境事務主任、莫家偉氏による、ハイエンド人材通行証制度の導入、人材入境スキームの最適化、人材サービス窓口の設置などを重点においた香港の高級人材誘致政策についてのビデオプレゼン。

その4：前海初の人材をテーマとしたプロモーション映像「STRIVE FORWARD」が記者会見で公開され、世界中の人材に心からの招待。当映像は前海国際人材港のプラットフォーム機能と政策をアピールすることに重点が置かれている。



---

## 【参考資料】

- [・グローバルヘルス・アジア・サミットが香港で開幕 業界のチャンスに注目](#)
- [・香港・マカオ居住者を対象とした南沙個人所得税優遇措置の実施](#)
- [・前海と香港が合同で「2023年深圳・香港人材共同募集・誘致計画」を発表](#)